

科目名称	AI時代の情報倫理				
科目名称 (英語)	Information ethics in the AI era				
授業名称	AI時代の情報倫理				
教員名	⑥松岡 靖晃				
開講年度学期	2020年度 前期				
曜日時限	集中講義				
開講学科	工学部 情報応用工学科 機械電気工学科				
単位	⑤2	学年	2	科目区分	専門教育領域科目専門科目
実務経験のある教員による授業科目	「○」				
アクティブ・ラーニング科目	②「○」グループ・ディスカッション,グループワーク				
授業の概要・目的・到達目標	<p>③【概要】</p> <p>マクロ動向や主要な産業動向を踏まえ、なぜAI技術に期待と不安が発生しているかを理解する。過去技術革新が社会実装された際に発生した課題やルール形成、社会変化について事例を中心に議論し、技術革新が引き起こす社会変化について体感する。AI技術を活用した最新事例（自動運転、チャットボット等）の状況を理解し、今後発生が予測される倫理的問題について理解する・議論する。結果として、AI時代の倫理・行動規範の基礎内容を学ぶことができる。</p> <p>シンクタンク・コンサルティングファームにおいて新事業創造、インキュベーション活動をマネジメントしている者が、その実務経験に基づき、実社会での最新動向を踏まえて講義する。</p> <p>【目的】</p> <p>AIの技術発展が引き起こす人の行動規範や社会変化を予測し理解することで、AI時代を生きるものとしてなすべき行動を自分の言葉で語れるようになる。</p> <p>同時に、学生同士のグループディスカッションやグループワークを通じて、正解のない論点について議論するスキルを身につける。</p> <p>①【到達目標】</p> <p>1. 現在議論されているAI技術活用における課題について理解できている。</p> <p>2. 技術革新が引き起こした人の行動変化や社会変化について説明できる。</p> <p>3. AI社会到来時における倫理上の課題を提示でき、AI時代における倫理・行動規範について議論できるようになる。</p>				
履修上の注意					
準備学習・復習	各回ごとに準備学習・復習については指示する				
成績評価方法	⑦本科目はテストを実施せず、講義内でのディスカッション/グループワークにおける主体性及びレポートでのみ採点する。 参加姿勢(ディスカッション/グループワークにおける主体性) 30%、小レポート10%×4回、レポート30%×1回				
成績評価基準	S:到達目標を十分に達成し、極めて優秀な成果を収めている A:到達目標を十分に達成している B:到達目標を達成している C:到達目標を最低限達成している D:到達目標を達成していない				
教科書	各回レジメを配布する。				
参考書	「AI倫理 人工知能は「責任」をとれるのか」西垣通 河島茂生著 中公新書クラレ 2019年 「AI時代の労働の哲学」稲葉振一郎著 講談社選書メチエ 2019年				
授業計画	<p>④【第1回：5/23 ①10:50-12:30 ②13:20-15:00】※遠隔授業</p> <p>オリエンテーション&AI技術実装に関する動向整理 本講義の進め方の確認並びにAI技術に関する政府動向や産業界の期待について学ぶ。</p> <p>【第2回：6/20 ③10:50-12:30 ④13:20-15:00 ⑤15:10-16:50】</p> <p>技術革新が社会実装された際の社会変化・市民の行動変容について 過去の技術革新によって人間の生活がどう変化したかを講義により習得する。 講義で扱った事例についての倫理的問題について個人ワークやグループワークで調査・発表し具体的な解決方法について討論する。</p>				

【第3回：7/4 ⑥10:50-12:30 ⑦13:20-15:00 ⑧15:10-16:50】

AI技術を活用した最新事例（自動運転、チャットボット等）の状況理解と社会変化・行動変容について

自動運転技術、音声対話技術を活用した最新のビジネス事例を講義により学ぶ。

そのビジネスが普及した際の社会やユーザーの行動変容について調査・ディスカッションし現在のそれとの違いを整理する。

【第4回：7/18 ⑨10:50-12:30 ⑩13:20-15:00 ⑪15:10-16:50】

AI技術が社会実装された際に引き起こされる倫理的問題の抽出とその解決方法について

AI技術が社会実装された際に問題となる一般的な倫理問題を講義により習得する。

第3回で整理した社会変化・行動変容の整理を起点に、具体的に発生する倫理的問題を抽出する。

【第5回：8/1 ⑫10:50-12:30 ⑬13:20-15:00 ⑭15:10-16:50】

AI技術が多数活用された未来都市（スマートシティ）で起こる倫理的課題とそれに対する考え方の整理

様々なAI技術が実装される新都市開発計画を議論の題材として採り上げる。第1回～第4回までの講義を踏まえて引き起こされるであろう倫理的課題の整理を行う。

最後に個人ワークとしてレポートとしてまとめる。

備考

99T187A